

校長室だより

令和2年9月7日
校長 齋藤 瑞穂なつやす しゅくだい
夏休みの宿題はなんのために?

学校だよりも書きましたが、今年は短い夏休みだったにもかかわらず、すんで自由研究に取り組んだ人がたくさんいて、感心しました。

「夏休みは楽しみだけど、宿題がいやだなあ。」多くのみなさんの本音ではないかと思います。私も夏休みの宿題には苦労しました。ドリルや漢字練習、読書感想文はまだしも、自由研究と言われると何をしてよいかわからなくなる子供でした。でも、毎年手探りで取り組みながら、友達や上の学年の人の研究に刺激を受けて、だんだん自分が調べたいこと、集中して学習できることをみつけていった気がします。そして、研究のテーマ(調べて解決したいこと)さえはっきりさせることができたら、自由研究ほど楽しい宿題はないと思えるようになりました。

みなさんの中には、「自由研究は大好きだけど、計算ドリルはめんどうだ。」「読書感想文はどうしても苦手だなあ。」などと6年生の自由研究の一部さすが6年生!いう人もいるでしょう。それですしね。でも、共通しているのは、簡単なことや得意なことより、苦手なことや難しいことをやりとげたときの方が、がんばりを実感できて「やった!」という気持ちになれること。夏休みの宿題は、そんな気持ち(「達成感」とも言います)を味わうためにもあるのかな、と思います。

興味をもったテーマにすんで取り組み、楽しく調べられた人だけでなく、大変だったけどがん

ばった人、めんどうだったけど投げ出さずにできた人にも大きな拍手を送ります。よくがんばりました。

夏休みを通して心も体も大きくなつたみなさん。2学期の成長がますます楽しみです。

とくくばんより

かぜがふく つきよのばんは きもちいい

1年 増山 なつめ さん

今回の句は1年生の作品です。季語は「つきよ(月夜)」で季節は秋。月は年間通して見られるものですが、特に秋から冬にかけては空が澄んで月が明るく大きく、美しく見えるため、月と言えば秋と、秋の季語になったようです。

9月に入ると、昼間はまだ暑いものの、日が暮れると少しすずしい風がふき、すこしやすい日が増えます。増山さんは、そんな日には月も美しく、気持ちよいなあと感じたのでしょうか。

今年の中秋の名月は10月1日。すずしい風にふかれながら美しい月が見られるとよいですね。



こたえ

16号の答えは、「デスバレー」。アメリカ合衆国で最大の国立公園があるところです。正解は1年生1名でした。

17号の答えは「百日紅(サルスベリ)」で、正門近くと3,4,5年生の昇降口裏に咲いています。5年生は理科の学習で全員知っていましたね。

保護者の皆様

順調なスタートを切った2学期でしたが、ここに来て子供たちに心と体に疲れの色が見えてきました。厳しい暑さが続いており、また、早速土曜授業も始まるなど、慌ただしい毎日ですでの無理もありません。お家で不調を訴えていませんか?変わった様子があつたら無理をさせず、気持ちに寄り添ってあげてください。また、担任にもどうぞお知らせください。